

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達サポートるっか			
○保護者評価実施期間	2025年11月18日		～	2026年1月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○従業者評価実施期間	2025年12月27日		～	2026年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月14日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	母体であるやまびこ医療福祉センターには多職種の職員が勤務しており、当事業所職員のみでなく、多職種と連携を図り、お子様の成長・発達に応じたより良い支援を提供できる体制が整っています。	医師や看護師の医療職に加え、センター内には管理栄養士が在籍し、食事に関してはお子様方の口腔状態に応じた様々な食事形態、成長や運動量に応じカロリー計算された食事量の提供を行っています。また、他に言語聴覚療法士や作業療法士等と連携を図り適切な食事を提供できるよう努めています。	今後も保護者様をはじめ、センターの専門職員と連携を図り、お子様の成長や発達、特性に応じた細やかな支援を今後も継続して提供に努めていきます。
2	自然豊かな環境の中で、四季折々の自然物に触れながら五感を豊かに育む豊富な経験を積めるよう活動を計画・実施しています。	四季折々の自然や植物の変化等に気付けるよう、屋外活動や野菜や花の栽培活動を計画し、自然や緑に親しむ機会を提供しています。	気温や気候を考慮しながら身近な自然や植物、虫などに触れる・観察する機会を増やし、五感を刺激しながらお子様方それぞれのペースで豊富な経験を積み重ねていけるよう支援に努めていきます。
3	母体であるやまびこ医療福祉センターでは、リハビリテーション、歯科診療および短期入所事業を実施しています。関係部署と調整し事業所利用日にあわせてこれらのサービスをご利用いただくことも可能です。	外来リハビリ担当職員や歯科スタッフと細やかな情報共有を行い、リハビリで得た情報や支援方法を日々の支援に活かしています。また、送迎を行うことで保護者様の負担軽減にも努めています。	お子様の成長や発達に応じ、その都度、適した支援の提供を行えるよう多職種で連携を図り、統一した支援の提供に努めていきます。また、現在リハビリや歯科、短期入所のみを利用されている方々への事業所の紹介や見学を促し、療育開始のきっかけ、療育への関心を広げていけたらと考えています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	同年齢児同士で関わりが限定的です。	就学や事業所移転に伴い登録利用児数が一時的に減少したことに加え、利用回数が異なるため、同年齢のお子様とのふれあう機会が少ない状況があります。	感染症予防対策等に取り組みながら学童のお子様やセンター内託児所のお子様との関わり、公園や子育て交流館での同年齢のお子様と関わる機会を増やしていきます。また、広報活動にさらに力を入れて、新規登録利用児の増加や現在利用されている方々の利用回数の増加を提案し、利用児童数を増やしていきたいと考えています。
2	立地環境による交通の不便さがあります。	事業所による送迎サービス対象外にお住まいのお子様方の利用についてはご家族様による送迎に頼らざるを得ない部分があります。	職員配置及び業務調整等を見直し送迎サービスの拡充を図り、ご家族のニーズにあった送迎サービスの提供に努めていきたいと考えています。